

公共交通のこと
考えてみませんか?



きづがわ 公共交通だより

vol.

76

発行日
平成26年
12月1日

木津川市では、市民のみなさまに使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。
今月は、アンケート調査結果及び年末年始の運行などについてお知らせします。

計画策定のためのアンケート調査結果（後編）

公共交通に係る総合的な計画の策定のためのアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
今回は、コミュニティバスの必要性に関する調査結果と、みなさまからいただきましたご意見を紹介します。
なお、木津川市ホームページに、全ての調査結果（第27回協議会 資料2）を掲載しています。詳しくは、「木津川市地域公共交通総合連携協議会」で検索してください。

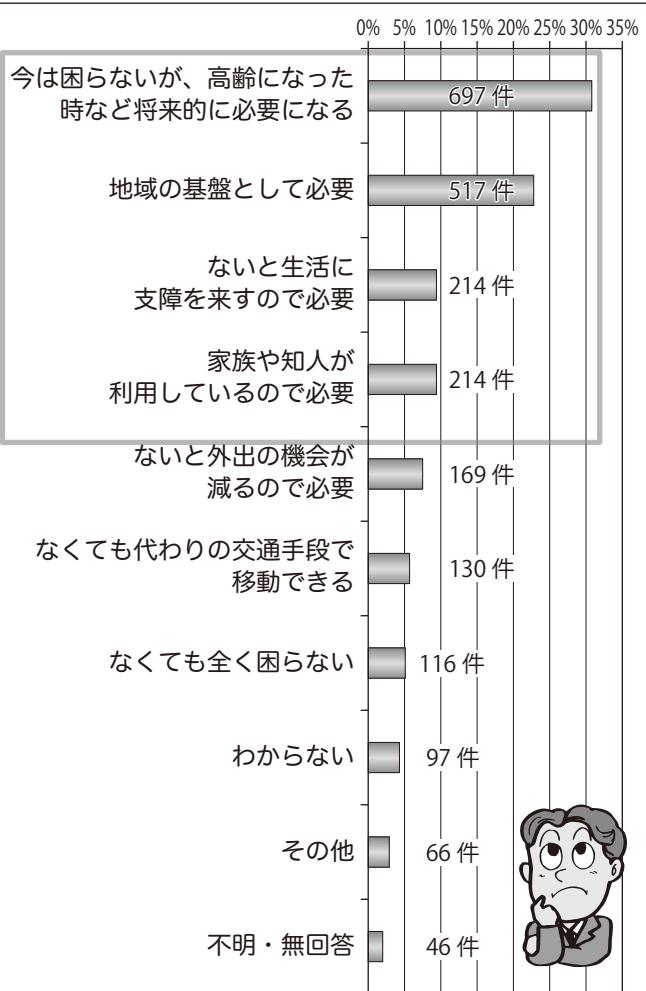
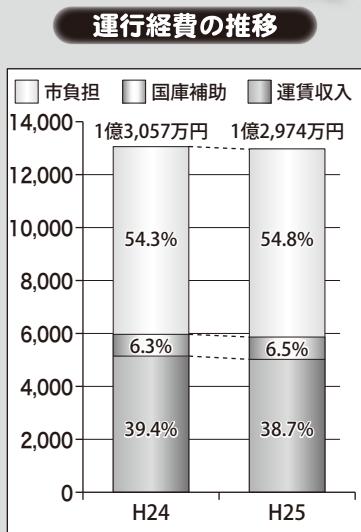
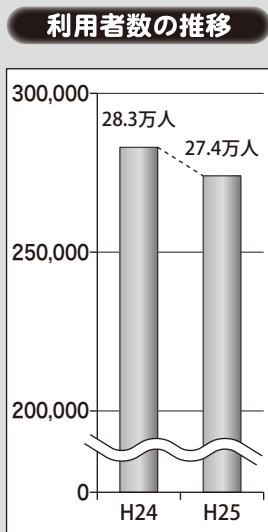
設問：コミュニティバスの今後の必要性について（複数回答）

アンケートの結果、コミュニティバスは「今は困らないが、高齢になった時など将来的に必要になる」と回答した人が最も多く3割を占めました。

続いて、「コミュニティバスは地域の基盤として必要である」が2割強を占めました。

また、コミュニティバスは必要だと考える人が多数を占めるにもかかわらず、利用者数・運賃収入は減っています。（下図参考）

参考



協議会では、運行業者をプロポーザル方式により選定し、また、予約型乗合タクシーを導入するなど、経費の削減に取り組んでいます。

公共交通は、みなさまのご利用によって成り立っています。
コミュニティバスの一層のご利用をお願いします。

裏面へつづきます

市内の公共交通に関する意見を集計した結果、「コミュニティバスは必要である」との意見が最も多く寄せられました。主な意見の詳細は次のとおりです。

主な意見 (件数上位のみ抜粋)

(件)

コミュニティバスは必要である	102
バスの運行本数の増便を	74
バス料金の値下げを	29
不便なバス路線の変更を	27
割引制度の導入を	26
他市町村への乗入れを	22
運行経費について	21
主要施設への直行便を	18
新しい交通システムを	16
バスを廃止すべき	16
夜間運行時刻の延長を	14
バス停の拡充を	14

① コミュニティバスは必要である

「今後過疎化や少子高齢化が進むことを考えると、バスは将来的に必要である」等

② バスの運行本数の増便を

「増便は負担金の増になるが、将来的に利用者数は増えたため、効果的である」等

③ バス料金の値下げを

「距離に応じた運賃設定をしてほしい」等

④ 不便なバス路線の変更を

「運行ルートを改善し、より効率よくバスを走らせれば、路線の数を減らせるのでは」等

ワークショップを開催しました



木津川市の公共交通に係る総合的な計画を策定するにあたり地域実情にあった内容で、実効性のある計画とするため、木津・加茂・山城の各地域で「地域の公共交通を考えるワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、今後の公共交通のあり方について活発な議論が行われ、「予約が難しい」といった問題点や、「地域でデマンドバスを運行できないか」といった提案などのご意見をいただきました。

協議会では、いただいたご意見を参考に、計画策定に向けて取組みます。



年末年始の運行



年末年始の運行は右表のとおりです。ご利用の際は、注意ください。



系統名	路線名	年末年始の運行
きのつバス	木-1～3	運休なし ※12月28日～1月5日 土・日・祝ダイヤによる運行
かもバス	奥畠線・通学線	12月28日～1月5日運休
	山田線・大畠線・観音寺線・南加茂台線・銭司線・西線(予約制)	12月28日～1月5日運休
	当尾線	運休なし(毎日運行)
やましろバス	山城線	12月28日～1月5日運休
	神童子線(予約制)	12月28日～1月5日運休